

の向上対策について継続的に要請していきたいと考えています。

放課後子どもプラン

問 現況と今後の計画について

答 放課後子どもプランの事業実施には至っていないところですが、学童保育については、喜多小学校区内において実施しており、現在12名の児童が利用されています。

また、市単独事業により、参加を希望する児童全員を対象とした地域子ども教室推進事業を平野小学校、白滝小学校、中野小学校の3校区で実施しています。さらに、通学合宿を中心とした子ども放課後支援事業を大谷小学校、正山小学校の2校区において実施しています。

また、子ども教室事業として、市内全域の児童を対象として、7月から12月まで土曜日の午前中を利用して、肱南公民館において、絵画、英会話、卓球など5つの教室を開講し、週末の子どもたちの居場所づくりや健全

育成に取り組んでいるところです。

今後の放課後子どもプラン事業の実施計画については、来年度には運営委員会を立ち上げ、前向きに検討を進めていきたいと考えています。

喜多児童館で行われている学童保育



元気いっぱいの子どもたち

景気浮揚対策

問 景気浮揚対策について

答 中小企業支援策として、本年6月から経済産業

省の委託を受け、大洲商工会議所内において、大洲地域経営支援センターを開設しています。応援コーディネートによる週3回の窓口相談を行うなど、6月から8月までの3カ月間の実績で相談企業数が52社、主な相談内容としては経営革新が全体の71%、操業に関するものが12%、そのほかには事業継続、農商工連携、地域資源活用の相談となっていると聞いています。

これらの支援策については、産業振興や景気浮揚に即効性のあるものではないが、粘り強く繰り返し取り組んでいくことで、いろいろな芽が出てくるのではないかと考えています。

また、今年度誘致に成功した株式会社ブルーム・クラシックについては、来春からの操業開始を予定されています。当初は30人程度からのスタートですが、4

年後には100人の雇用を計画されており、大洲市の産業振興にもつながっていくものと大いに期待をしているところです。

小学校統廃合

問 地元説明会の状況と廃校舎等の活用について

答 現在、統廃合計画の対象となつています17の

小学校について、校区別に説明会を実施しており、主な御意見としては、「なぜ統合しなくてはいけないのか」、「なぜ複式学級が悪いのか」、「学校を残してほしい」、「過疎化に拍車がかかる」など反対意見を述べられる人もありますが、前向きな意見を述べられる人もあり、子どもたちの教育に対する考え方も、地域に対する考え方もそれぞれ違いがあり、これらの御意見は真摯に受けとめていく必要があるものと思つています。いずれにしても、統廃合は地域の合意なくしては成り立ちませんので、今後とも粘り強く話し合いを進め合意をいただきたいと考えています。

統合後の廃校舎等の活用策については、地域からも有効に活用してほしいという御意見を多数いただいていることから、別途廃校舎等活用検討委員会等を設置し、先進事例などを参考にしながら、地域の皆様方や関係者ともよく協議をして、可能な限り地域の要望にこたえられるよう努めていきたいと考えています。

小学校統廃合計画とともに校舎利活用が問題となる

